

各地区業況アンケート結果（28年4月調査分）

（28年4月18日）

全国鉄鋼販売業連合会

4月15日締切で、当会役員154名に対しこのアンケートを行ったところ66名の回答があり（回答率42.9%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 4割強が前年同月比数量減少

問1】貴社の3月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計
売上数量/前年同月比	6	11	22	13	14	66
比率	9%	17%	33%	20%	21%	DI-27
売上金額/前年同月比	5	6	21	16	18	66
比率	8%	9%	32%	24%	27%	DI-55

2. いまだ減少傾向続く

問2】貴社の営業窓口から見て4月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI
公共建設向		2	25	15	8	50	-58
民間建設向		5	27	20	4	56	-41
自動車向		2	18	9		29	-24
その他需要家向	1	3	29	20	3	56	-38
仲間取引		3	27	14	8	52	-52
計	1	15	126	78	23	243	-44
比率	1%	6%	52%	32%	9%		

3. 赤字は2割弱

問3】貴社の3月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計
企業収益状況	15	21	18	10	2	66
比率	23%	32%	27%	15%	3%	DI+56

4. 不透明感強く好転の気配なし

問4】貴社における向う5月から7月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計
短期需要動向予測		18	30	14	4	66
比率		27%	46%	21%	6%	DI -6

5. 荷動きなく過剰気味傾向続く

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	品種別	A	B	C	D	E		4月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-52	-52	-31	-39	-42	-42	-38	-48	-46	-36	-39	-48	鉄筋用丸鋼			18	6	1	25	-32
-29	-31	-15	-14	-27	-20	-23	-23	-28	-21	-30	-21	構造用丸鋼			21	9		30	-30
-18	-19	-17	-22	-13	-22	-10	-14	-30	-12	-15	-22	平角鋼		1	19	5	1	26	-23
-30	-29	-18	-25	-27	-23	-27	-25	-17	-10	-22	-10	H形鋼		1	18	9	1	29	-34
-27	-19	-30	-14	-27	-32	-23	-24	-33	-26	-47	-50	コラム			11	8	2	21	-57
-30	-27	-17	-26	-23	-19	-16	-30	-28	-13	-17	-19	小形山形鋼		1	23	6	2	32	-28
-30	-33	-17	-23	-26	-23	-19	-24	-28	-19	-17	-21	中形山形鋼		1	23	7	2	33	-30
-24	-30	-20	-16	-29	-30	-23	-24	-25	-27	-21	-18	溝形鋼		1	23	7	2	33	-30
-33	-48	-34	-33	-23	-34	-28	-28	-27	-25	-25	-37	軽量形鋼C形		1	14	9	2	26	-46
-32	-32	-22	-27	-18	-25	-40	-32	-57	-29	-44	-44	軽量形鋼広巾		1	12	5	1	19	-32
-43	-58	-41	-48	-56	-45	-57	-62	-40	-52	-58	-52	冷延薄板			10	9	2	21	-62
-47	-50	-31	-52	-62	-42	-55	-61	-33	-33	-59	-41	熱延薄板		1	18	7	2	28	-36
-32	-55	-35	-56	-67	-52	-48	-59	-32	-44	-62	-53	表面処理鋼板			13	10	3	26	-62
-41	-60	-55	-56	-67	-56	-62	-56	-42	-57	-69	-61	酸洗鋼板			12	9	3	24	-63
-46	-42	-33	-56	-45	-49	-49	-58	-44	-38	-63	-54	中板		1	19	11	3	34	-47
-33	-29	-34	-39	-39	-46	-44	-38	-30	-29	-57	-44	厚板			20	13	1	34	-44
-10	-16	-20	-11	-10	-17	-17	-14	-22	-18	-25	-31	極厚板		1	9	3		13	-15
-21	-19	-18	-15	-23	-23	-25	-23	-35	-30	-22	-29	縞板			22	5	1	28	-25
-42	-33	-29	-22	-37	-29	-34	-36	-34	-33	-32	-38	中径角			20	11	1	32	-41
-24	-21	-18	-19	-19	-25	-25	-21	-32	-14	-19	-29	ガス管黒			22	11		33	-33
-31	-32	-16	-23	-25	-20	-19	-20	-31	-20	-24	-26	構造用鋼管			23	8	1	32	-31
-32	-35	-26	-31	-34	-33	-33	-35	-33	-27	-38	-35	計	0	10	370	168	31	579	-38

6. 底値感であるも、いまだ需要盛り上らず低調

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。（答え）

北海道	A	(鉄筋)昨年と違い、春先の荷動きは若干良い。スクラップの環境が変わりつつある中で、北海道では下向きの価格動向が見られる。荷動きにあわせて価格の維持が必要である。
	B	北海道は大型物件もあり好調との予測だったが、在庫品の荷動きが昨年より悪い結果となっている。小口案件が少ないように感じる。
東北	A	「パッとしない」のひと言に尽きる。契約残の消化でなんとか赤字を出さないで済んでいる。目先の案件が見えてこないのが5月、6月が心配である。仕事がなくなってしまったようだ。東北地区1～3月の鉄筋出荷量は前年比20%程度減少か。
	B	年度末であり、それなりに動いたが昨年と比べるとかなり悪い。このまま復興需要も終息か。
	C	荷動き、引合いが全くない。震災も5年が経ち、土木工事から建築工事に移行。復興は未だ道半ばの感。
	D	一次加工の注文が大幅に減少。H形鋼、鉄筋の価格が下落。同業者も荷動きが悪いので、より価格が下がっている。
新潟	A	建築、土木とも、全く仕事が出てこない。ある、あると言われているが、いつどんな物件が出てくるのか分からない。リーマンショックの時のようだ。
	B	「スクラップ価格が上がり、底値脱出の気配が」などと言われているが、末端の実感では、まだ遠いような気がする。
東京	A	3月上売上は前年同月に比べ需要の落ち込みが早く、売上金額、数量とも減少した。
	B	(素材) 2～3月は販売不振により再販価格2円下落した。(厚板) 水面下で対応したものが表面化した様子。電炉現物が第4四半期より1円アップしたが、そう簡単に価格転嫁できない。(切板) 暇ながら低位横ばいでキープしている。徐々に需要が出てきているのは、産機、製缶系であり、建築系は未だ出てこない。しかし、3月の電炉メーカーのバツキ感からすると物件そのものものは多いのではないかと。発注しないのは材料の最安値を持っているのではないかと。今回のスクラップ値上げでムードが一新するのではないかと期待している。
	C	薄板需要は4月に入り、一段と悪い。3月末在庫も積み上がっており、安値を警戒しながらの商売が当面続く。
	D	(鋼管) 好調な分野もなく、7月以降まで現状推移と思われる。
	E	市況は下げ止まったが、引合いは増えていない。これからメーカー対応の変化があると思われる。そこが変り目になるのではないかと。
	F	価格に漸く底値感が出てきたように感じる。輸入材が行き渡ったのか？海外市況やスクラップ価格が少しずつ好転しているが、相場への転嫁にはもう暫く時間がかかると思われる。
静岡	A	総じて鉄鋼製品の需要と供給の情報は大手流通、商社系流通に集中している。零細企業は「なんとなく忙しい」か「仕事がないか」の何れかである。供給量からして引合い、見積り案件は推して知るべし状況。物件に対する価格はどうなるのか。ユーザーも電炉メーカーの状況を良く知っている。買手市場に変化なく厳しい状況である。大手流通の出店が東も西も凄まじい。その目標売上が30億～50億円。二三次店の出番はないのか。抜本的な改革をしないと我々の存在価値がなくなる。「大は小を兼ねない」は過去の話である。興信情報に建設、土木関連の掲載が必ずある。

静岡	B	消費、設備投資の落ち込みで活気がない。市況は底を打ちつつあるが需要は期待できない。当用買いが続き、運賃など経費倒れになっている。需要低迷が長引き、与信管理から目が話せない。
富山	A	Hグレードと自動車関連以外は全減。50～80%操業が多い。
	B	建築物件の出件が急激に落ちてきた。ゼネコンの入札激化、安値受注、下請け叩き、いつもの悪循環が急速に広まりそうである。今後は取引先の与信問題の発覚が心配である。
石川		建設業も製造業も閑散となってきた。新幹線工事だけが、期待されているが月割りにすれば大した量とは言えない。但し、ピーク時は人手不足が予想される。(2年後)現物商いは少ないとみえて関東からの投売りが薄板三品主体に絶えない。徹底抗戦して我慢するのみである。
愛知	A	大手自動車関連は2月に生産停止した分を9月までに取り戻すと発表があった。生産水準は高いがそれに伴う下請けの負担は重い。少しでも採算が良くなることを望みたい。円高傾向にあることから輸出企業の影響が予想されるが現状、大きな動きは見られない。
	B	(自動車) T社の減産により、2月、3月と前年割れである。販売面では軽自動車の売れ行きが良くない。4～9月、T社の生産遅れの取り戻しのため山が高くなる。家具など3月中旬以降から動きが落ちた。陳列はピークアウトに特殊事情が重くなり今後についても期待薄。市況品種は上がる局面はたくさんあるが、足元の荷動きが悪く、当用買いで安値が散見される。
	C	3月に入ってから徐々に悪くなっている。4～6月はあまり期待できない。
	D	全体感が非常に悪く、先行きの見積りや話のネタも少ない状況が続いている。愛知県は他地区に比べると仕事が多くあると言われているが、実感としてそれを全く感じられない。
大阪		3月に入り、民間の中小物件(倉庫、工場、店舗、住宅など)は底を打った後、漸く持ち直しの兆しが見えてきた。まだ、力強さはやや欠けるものの、ここへ来て漸く持ち直してきた感じである。一方でスクラップ価格の急な上昇に伴うメーカーの値上げ攻勢で、市況は当分落ち着く様子はなく混乱が続く見通しである。
岐阜		年度末は例年以上に受注も薄く、一次二次加工に偏った傾向だった。棒鋼、形鋼の定尺は薄利傾向となっている。
広島		自動車向けの設備の仕事が散見されたが、継続性はない。建築は4月から動くとの年初来の予定も大方の予想通り後ろにずれ込みそうである。土木も低調のままで、機械関係も仕事のあるところとないところの差が激しい。春先は仕事を拾い集めていくしか手はない。相場の踏ん張りを期待している。
香川		例年の年度末と違い、動きが非常に悪かった。ファブの動きは5月連休以降か。造船関連も先行き不安な面が見られる。
福岡		2月後半から少し動きが弱まったので、3月が心配だった。しかし、年度末の駆け込みで予想よりも数字が伸びた。(特に特殊車両、食品関係、半導体関係)倒産についても平成27年度はゼロであった。平成28年度も情報収集を行い、与信管理を徹底したい。福岡では空港関係の仕事、また南九州では病院関係の物件が決まっている状況で、昨年よりも動きがあると予想されている。
北九州	A	先月に引き続き、建築物件に付随する材料および一次加工は堅調である。製缶業者向けの材料は低調だが、鉄骨、鉄筋工事の材料でカバーしている状況。

北九州	B	4月以降の地場物件の話は非常に少なく、見積りの電話も減っている。大型物件の話は聞くが、遠い別世界のように実感はない。
	C	電炉メーカーの形鋼品の底値は固まりつつあるが、二三次店からの引合いは低調で、当用買いに徹し、動く気配なし。相場は意に反しジリ安。4～6月の弱含みは想定内である。黙して動かず、安値追いも自重している。
	D	鉄筋丸鋼、H形鋼ともに荷動き低調と思われる。販売価格もジリ下げにて4～6月は大きな変化なく思われる。与信管理は常に注視している。